ビーバー

ビーバーマジックハンマー

杭打機　RP－018

取扱説明書

- 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書はいつでも読めるよう大切に保管してください。

山田機械工業株式會社

■ 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意してください。

マーク表示部位	図　柄	意　　　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表示します。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが開くことを示します。

はじめに

この度ビーバーマジックハンマーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前にこの取扱説明書および別冊エンジン取扱説明書も合わせて繰り返しお読み頂き、良くご理解頂いた上で、安全で効率の良い作業を始めてください。
また、お読み頂いた後必ず大切に保管してください。

ビーバーマジックハンマーは常におこたらない品質改良のため、取扱説明書の中にお買い上げの製品と詳細について異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
お買い上げの製品または、この取扱説明書の内容に関するご質問は、お買い上げ店または営業所までお問い合わせください。

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な事項です。良く読んで必ず守ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、得に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	：注意事項を守らないと、死亡またわ重傷を負うことになるものを示しています。
⚠ 注意	：注意事項を守らないと、けがを負う恐れのあるものを示しています。
⚠ 警告	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
重　要	：注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れのあるものを示しています。
補　足	：その他、使用上役立つ補足説明を示しています。

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書を読み、良く理解した上で正しく取扱って下さい。安全で効率の良い作業をして頂くために、ぜひ守って頂きたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 本製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

- 本製品は耕した畑に鉄パイプ杭、木杭を打ち込むために設計された畑専用の杭打ち機です。使用目的以外に使用すると故障、破損の原因になります。

- 本製品は操作を誤ると不測の事故を招くことがあります。次のような場合は作業を行わないでください。

  ① 疲労など体調の悪い時や、かぜ薬服用時、飲酒時での作業。

  ② 風の強い日や降雨、雷など天候の悪い時。

  ③ 夜間や濃霧など、周辺の状況判断がむずかしい時。

  ④ 落石や雪崩の恐れがある場所

  ⑤ 足元がすべりやすいなど、安定した操作姿勢の保持が困難な場所。

  ⑥ 取扱説明書の内容が理解できない人や、子供には絶対使用させないでください。

- 作業は３０～４０分を限度とし、１０～２０分休憩を取り、決して無理な作業はしないでください。

- エンジンの排気ガス中には人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やトンネル、穴溝などの換気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

- 次のような場所では使用しないでください。本製品が故障、または破損いたします。

  ① 硬い土壌、山、石ころ混じりの土。

  ② 石、コンクリート、アスファルトなどの硬い所。

- 作業時の騒音による聴力障害予防のため、耳栓を必ず着用してください。

- 作業時の振動緩和、やけど防止のため手袋を必ず着用してください。

- この取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合など必要に応じて参照ください。

- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書は必ず添付してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・用品

- 本製品をお使いになる際は、次のような用品を着用してください。
  - ① すそを絞った長袖の上着と長ズボン。
  - ② 滑り止めのついた長靴または安全靴。
  - ③ 帽子またはヘルメット。
  - ④ 手袋、耳栓など。
- 本製品には付属品として下記の物を装備しております。
  - ① 耳栓
  - ② 六角レンチ（Ｍ６用）
  - ③ エンジン用工具
  - ④ 補充用グリス
- 本製品にはオプション部品としてショルダーバンドをご用意しております。楽に持ち運びができ長い距離の移動に便利です。

■ 火災防止に関する注意事項

- 本製品のエンジンは引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としているため、次の事項をお守り頂かないと、火災の原因となります。
- 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、くわえタバコなどまわりに火の気がないことを確認してから補給してください。
- 燃料を補給後は、燃料タンクキャップを確実に締め込み、燃料漏れなどがないことを確認してください。
- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。付着したまま作業を行うと、マフラーの熱や、電気系統のスパークによる火災をおこし、やけどの恐れがあります。
- 給油後は、燃料容器を密閉し火の気がなく、日の当たらない涼しい場所に置いてください。
- エンジンを運転したまま、または停止後は、マフラーおよび、その他金属部が高熱になっていますので燃えやすい物の上に置かないでください。

■ 作業前の注意事項

- 作業前には必ず格項目に従って点検を行ってください。
- 点検は必ずエンジンを停止してからを行ってください。
- エンジン停止後は、マフラーや点火プラグ・その他金属部が高熱なっていますので触れないでください。やけどの恐れがあります。
- 作業を開始する前には、本機の割れやグリス漏れ・ネジ類のゆるみや破損・燃料漏れ・作動不良などがないことを確認してください。
- 本製品の改造、分解はしないでください。正常な操作ができなくなり、故障や破損する場合があります。
- 異常な箇所がみつかれば使用しないで、お買い上げの店または、営業所にお問い合わせください。

⚠ 正しくお使いいただくために

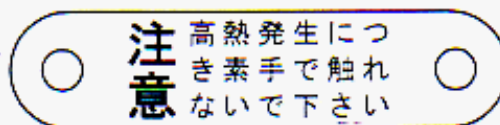
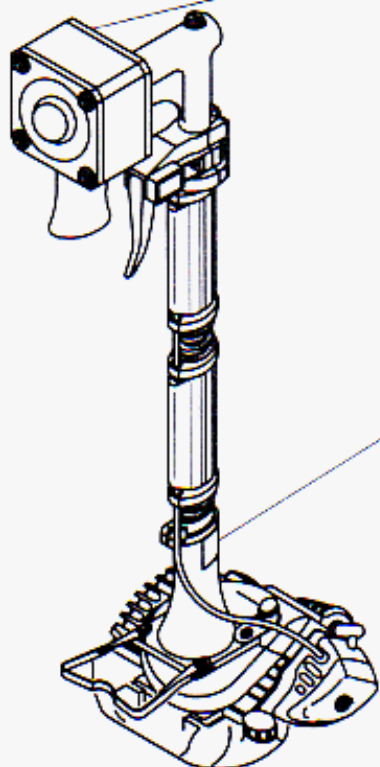
■ 作業時の注意事項

- エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。電気ショックを受ける恐れがあります。
- エンジン運転中および停止後は素手でマフラーなどの金属部に触れないでください。高温によるやけどの恐れがあります。
- 作業終了後1時間はマフラーや点火プラグ・その他の金属部に素手で触れないでください。
- 傾斜地などの滑りやすい場所、足元の不安定な場所などでは、十分注意して作業を行ってください。
- グリップ以外の所を持って作業、移動しないでください。
- 作業中に異常音・異常振動・杭を打たなくなったら、ただちにエンジンを停止し本製品の点検を行ってください。
- 作業終了後や長い距離を移動する時はエンジンを停止してください。
- 作業中移動する時は、スロットルレバーをはなして移動してください。
  スロットルレバーを引いた状態で移動すると、本機内の打撃部（アンビル）が抜け落ちる場合があります。抜け落ちた場合は、必ず、土・石・ほこりなどの異物を、ふき取ってからクランクケース内に挿入してください。本機内に異物が混入ると、故障の原因になります。
- 必ず、本機のガイドパイプ部に杭を差し込んでからスロットルレバーを引いください。
- 杭打ち時はグリップを握り、本機が跳ねあがらない程度に下方向に引っ張ってください。金属部を押さえるとやけどの恐れがあります。強く引っ張ると本機の故障・破損の恐れがあります。
- 作業中、本機を上下して杭をたたかないでください。本機を上下して杭をたたくと本製品が破損します。
- 本機をハンマー代わりに使用しないでください。ハンマー代わりに使用しますと本機が破損します。
- 作業中エンジン音が低くなり杭を打つ力が弱くなったら、本機内のグリスが少なくなったと思われます。ただちにエンジンを停止してグリス補充要領に基づいて補充してください。
- 作業中打撃音がしなくなり、エンジン音のみとなった場合、本機内のグリスが消耗したか、故障したものと思われます。ただちにエンジンを停止して、お買い上げの店または、営業所にお問い合わせの上、修理してください。

⚠ 警　告

- 本製品の改造は破損する危険性がありますので、改造しないでください。
- 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用方法と異なる場合は、メーカー保障の対象外になりますのでご注意ください。

正しくお使いいただくために

■ 注意銘板・ラベルとその取扱い

● 上記銘板、ラベルのほかにエンジン部に貼り付けのラベルについての詳細は別冊エンジン取り扱い説明書をご覧ください。

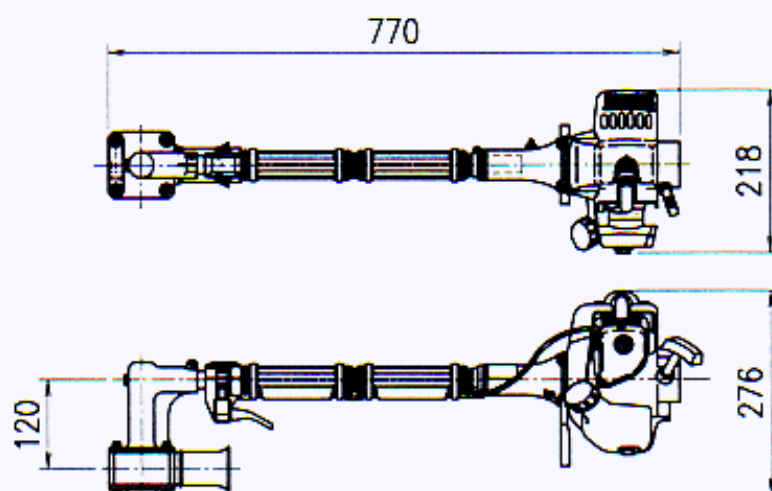
■ 注意銘板のメンテナンス

● 注意銘板は、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

● 注意銘板が破損したり、文字が読み取りにくくなった場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しい銘板にお取替えください。

● 注意銘板を取り替える場合は、ボルトを取り外し新しい注意銘板と交換してください。なお、ボルト締め付けは、ゆるまないように十分締め付けてください。締め過ぎるとボルトが破損しますので、ご注意ください。

製 品 主 要 諸 元

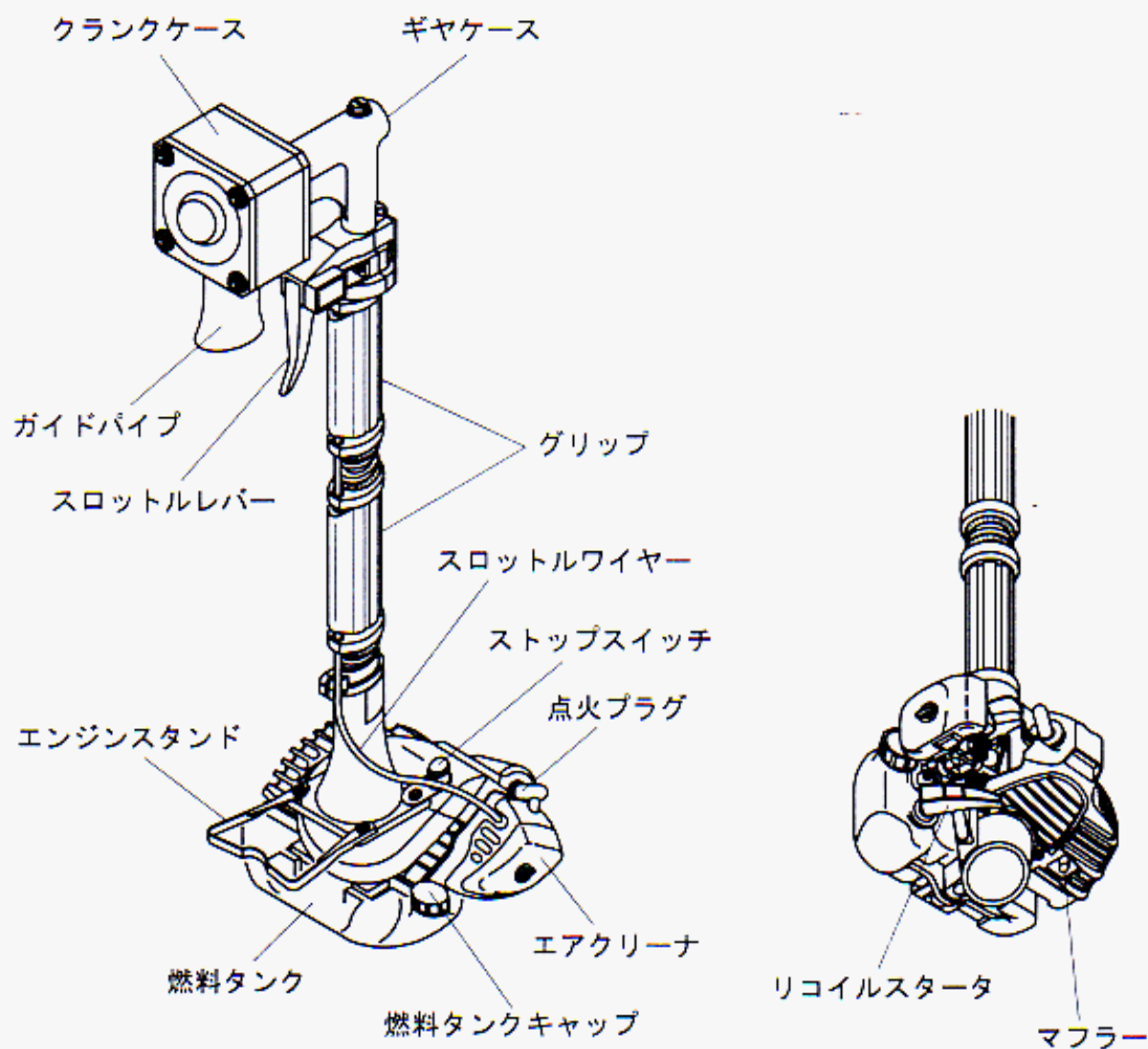
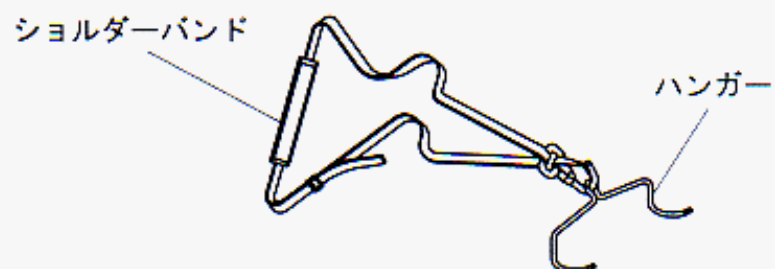
■ 主要寸法

■ 仕様・性能

項目		仕様
名　　　　称		ビーバーマジックハンマー
型　　　　式		ＲＰ－０１８
質　　　量　(kg)		６．７（エンジン含む）
打 撃 数 （１分当たり）		４７００～５５００回
使 用 可 能 場 所		耕した畑
使用出来る杭	材　　質	木 ・ 鉄パイプ
	外　　径	３６ ㎜ 以下
消 費 燃 料（タンク満タン）	時　　間	約６０分
グ　リ　ス	種　　類	リチコン系（エポニックスＳＲ Ｎｏ、２）
	消耗時間	約２０時間
動 力 伝 達 方 式		フレキシブルシャフトφ７
エンジン部	型　　　　式	Ｊ２３７ＺＳ
	形　　　　式	空冷２サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン
	排 気 量 (cc)	２２．５
	点 火 方 式	無接点マグネト式
	点 火 プ ラ グ	ＣＪ６Ｙ
	キ ャ ブ レ タ	ダイヤフラムロータリバルブ式
	燃　　　　料	2サイクル専用オイル混合ガソリン（ガソリン：2サイクルオイル＝２５：１）
	燃料タンク容量（リットル）	０．６
	始 動 方 式	引き力低減型リコイルスタータ式
	デ コ ン プ 仕 様	排気デコンプ
	エ ア ク リ ー ナ	乾　式

● 消費燃料、グリスの消費時間は、土質、気象条件により異なります。

各部の名称

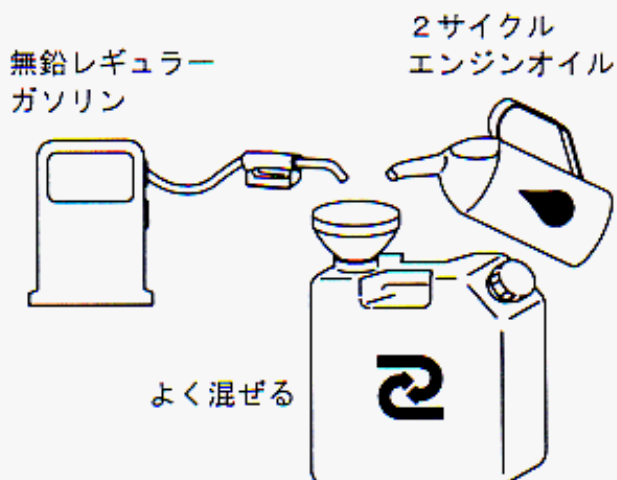
■ 機体部

クランクケース
ギヤケース
ガイドパイプ
スロットルレバー
グリップ
スロットルワイヤー
ストップスイッチ
点火プラグ
エンジンスタンド
エアクリーナ
燃料タンク
燃料タンクキャップ
リコイルスタータ
マフラー

■ オプション部品

燃　料

⚠ 危険	● 燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 燃料の混合作業は屋外で行ってください。 ● 本機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重　要	● オイルは必ず空冷２サイクルエンジン用オイルを使用してください。４サイクルエンジン用オイルを使用すると点火プラグ、マフラー、シリンダー内のカーボン付着が多くなります。 ● 変質して異臭のする古い燃料は始動不良や、出力不足の原因になりますのでご使用にならないでください。余った燃料は屋内の冷暗所に保管してください。 ● 水の混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。本機や燃料容器に水がかからないようにしてください。

■ 使用燃料

● 燃料は、最寄のガソリンスタンドで「空冷２サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

【 混合比 】

● 市販２サイクルオイル（ＦＢ級）使用時・・・・２５：１
（ガソリン４リットルに対しオイル１６０ミリリットル）

給　　油

▲危険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料タンクキャップは確実に締めてください。 ● 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動する前に、付着した燃料を布などで完全にふき取ってください。

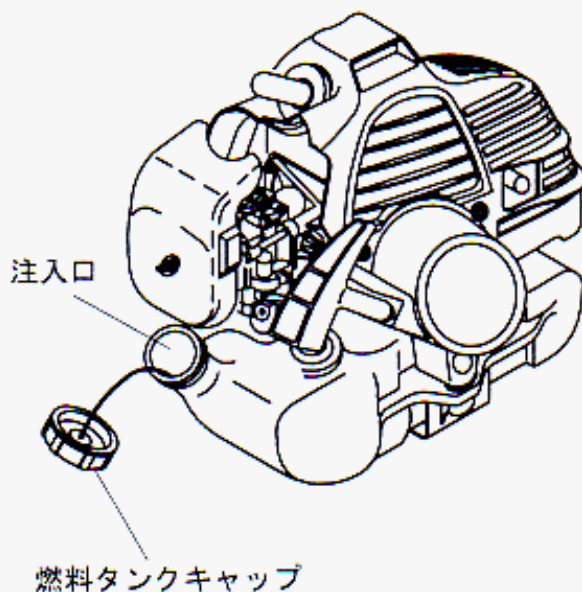
重　要	● 給油時は、燃料を取りちがえないようにしてください。必ず、２サイクル専用オイル混合ガソリンを給油してください。 ● 給油は燃料タンク内部に少し空間を残してください。入れすぎると、タンク通気バルブから燃料がもれるおそれがあります。

■ 給油手順

① 本機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。

② 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。

③ 燃料タンクのキャップを取り外し、注入口から少しずつ給油してください。

④ 給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

エンジンの始動

⚠ 危険	● 燃料給油後エンジンを始動する場合は、本機を給油した場所から離れた場所に移動してから始動してください。給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。人体に有害な一酸化中毒の恐れがあります。

⚠ 注意	● 始動前に機体各部を点検し、ネジ部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を地面に置いて保持してください。 ● 運転中および停止直後はエンジン本体やマフラーの金属部に素手で触れないでください。やけどの恐れがあります。 ● 運転中は点火プラグやプラグコードに手をふれないください。感電によるショックを受けることがあります。

重　要	● リコイルスタータのロープを一気に最後まで引ききったり、引張った状態から手を離さないでください。リコイルスタータの故障の原因になります。 ● エンジンの回転数はあらかじめ調整していますので、スロットル調整はしないでください。本機の故障、破損の原因になります。 ● 暖機運転中に本機内のアンビルが抜け落ちる場合があります。抜け落ちた場合は、必ず、土やほこりをふき取ってください。本機内に異物が混入すると故障の原因になります。

補　足	● エンジンの停止直後の始動には、始動ポンプを押さずにチョークレバーを開にしてリコイルスタータを引いてください。

■ 始動手順

① 燃料を燃料タンクに入れ、キャップを確実に締めてください。

② キャブレタ下にある始動ポンプを数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れるのを確認したら押すのをやめてください。

③ キャブレタ横のチョークレバーを閉の位置にセットしてください。

注意

- チョークレバーが開の位置では始動しません。

④ 機体をしっかり保持しリコイルスターターを軽く引いてください。

重要

- リコイルスタータのロープを一気に最後まで引ききったり、引張った状態から手を離さないでください。

⑤ エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に開き、スロットルレバーを引き4～5分暖機運転をしてください。エンジン音が高くなったら、暖機運転を終了してください。

重要

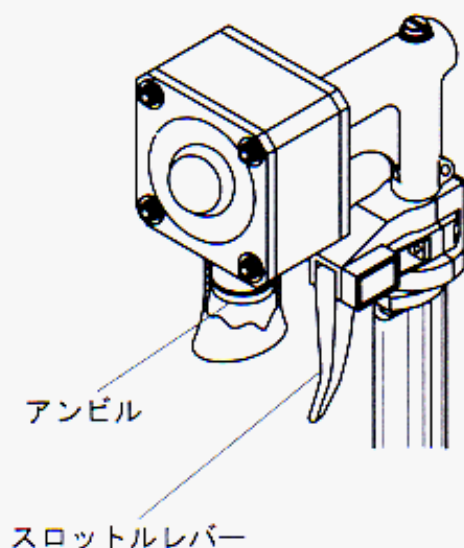
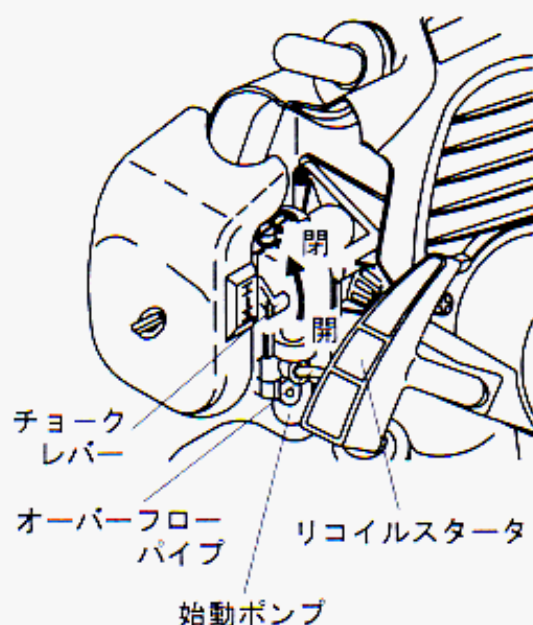
- 暖機運転中に本機内のアンビルが抜け落ちる場合があります。必ず土やほこりをふき取ってください。故障の原因になります。

重要

- エンジン回転数はあらかじめ９３００～９４００ｒｐｍに調整しています。回転数を上げると高熱が発生し本機の故障、破損の原因になります。また回転数が低いと杭を打つ力が弱くなります。絶対にスロットル調整はしないでください。

- エンジンの回転不良になった場合は、お買い上げの店または、営業所にスロットル調整を依頼してください。

補足

- エンジン停止直後の再始動には、始動ポンプを押さずにチョークレバーを開にし、リコイルスタータを引いてください。

エンジンの停止

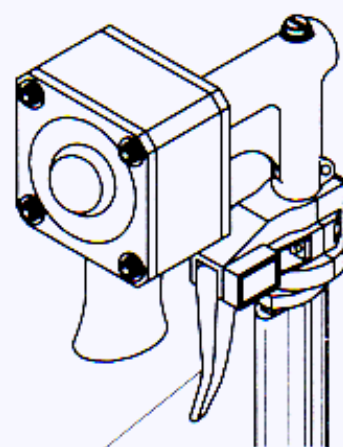
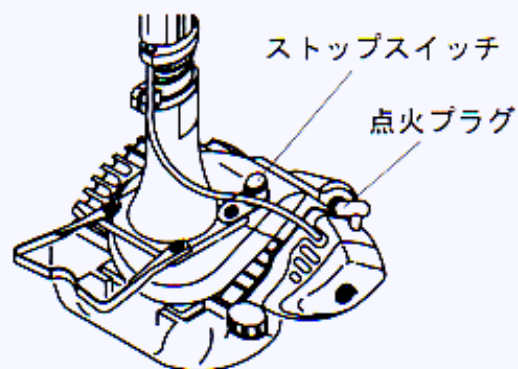
⚠ 注意	● 緊急時に機体に異常を感じたら、直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● 感電ショックを受けないよう、エンジンが止まるまでは点火プラグやプラグコードに触れないでください。 ● エンジン停止直後はエンジン本体やマフラーの金属部に素手で触れないでください。やけどの恐れがあります。

■ 停止手順

① スロットルレバーを完全に戻してください。

② スットップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押しつづけてください。

重要

● スロットルレバーを引いたままスイッッチを切るとエンジンに無理がかかりますので、緊急時以外はスロットルレバーを戻してから停止操作をしてください。

杭打作業

⚠ 警告	● 作業を始めるに当たり、必ず、3ページ、4ページ、5ページの「正しくお使いいただくために」の事項を守ってください。

補足	● 杭、本機を所定の場所にセットし終えたら、杭を支えている手をはなして杭打ち作業を行うと楽に作業を行うことができます。 ● 作業中にガイドパイプ内アンビルから少量の油が漏れる場合があります。本機の異常ではありません通常の作業を続けてください。

■ 作業手順

① スロットルレバーを放した状態で、杭まで移動してください。

補足

- 移動にはオプションのショルダーバンドを使用しますと楽に移動できます。

注意

- ショルダーバンドを使用して移動する時はハンガーから本機がはずれないよう、必ず本機を手で支えてください。

② 杭に本機のガイドパイプを差し込み、回転数を上げると高熱が発生し本機の故障、破損の原因になります。

重要

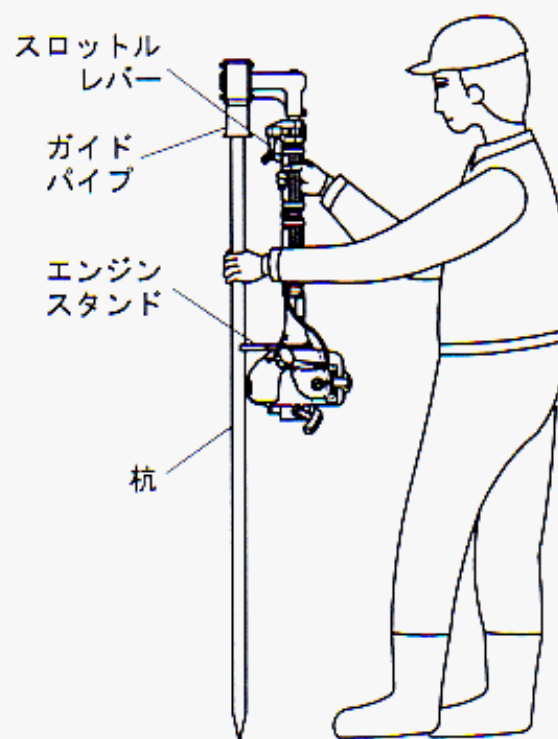
- 杭はガイドパイプの中心位置にくるようにしてください。杭に打撃力を十分に伝えことができません、中心位置がずれた状態で作業すると、本機が破損する場合があります。

③ スロットルレバーを一杯引いて、エンジンを全開状態にしてください。

④ 杭を打ち始めると、本機が跳ね上がりますので、跳ね上がらない程度に下方向に引っ張ってください。

重要

- 強く引っ張ると本機の故障、破損の恐れがあります。

⑤ 杭を打ち終わったらスロットルレバーを放し、アイドリング状態にし、杭から本機をはずしてください。

点 検・整 備

⚠ 警告	● 点検整備必ずはエンジンを停止してから行ってください。停止直後は本体やマフラーの金属部に素手で触れないでください。 ● 本機改造や分解はしないでください。 ● 点検整備は作業前および作業終了の都度行ってください。

■ クランクケース部

① ネジ部のゆるみや破損はないか確認してください。ゆるみがあれば締めてください。ボルトが破損している場合は交換してください。

重要

- ゆるみや破損した状態で作業を行うと、本機が破損します。

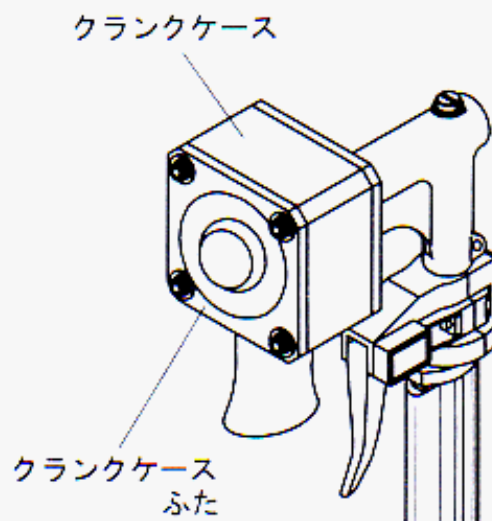
② グリス漏れはないか確認してくだい。グリス漏れがあればネジ部を締めてください。

重要

- グリスが漏れた状態で使用しますと、グリス不足なり打撃力が弱まります。また、故障の原因になります。
- ボルトを締めてもグリスが漏れる場合は、お買い上げの店または、営業所に修理を依頼してください。

③ クランクケース、クランクケースふたの割れや破損はないか確認してください。割れや破損があれば交換してください。

重要

- 交換は必ずお買い上げの店または、営業所に依頼してください。

■ ギヤケース

① ネジ部のゆるみや破損はないか確認してください。ゆるみがあれば締めてください。ボルトが破損している場合は必ず交換してください。

重要

● ゆるみや破損した状態で作業を行うと、本機が破損します。

② グリス漏れはないか確認してくだい。グリス漏れがあればネジ部を締めてください。

重要

● グリスが漏れた状態で使用しますと、グリス不足なり打撃力が弱まります。また、故障の原因になります。

● ボルトを締めてもグリスが漏れる場合は、お買い上げの店または、営業所に修理を依頼してください。

③ 割れや破損はないか確認してください。割れや破損があれば必ず交換してください。

重要

● 交換は必ずお買い上げの店または、営業所に依頼してください。

④ 注意銘板の汚れや表記文字が消えていたり、破損していなか確認してください。汚れている場合は汚れをふき取ってください。表記文字が消えていたり破損している場合は交換してください。

● 注意銘板はお買い上げの店または、営業所で購入してください。

■ アンビル

● 割れや破損はないか確認してください。割れや破損があれば必ず交換してください。

重要

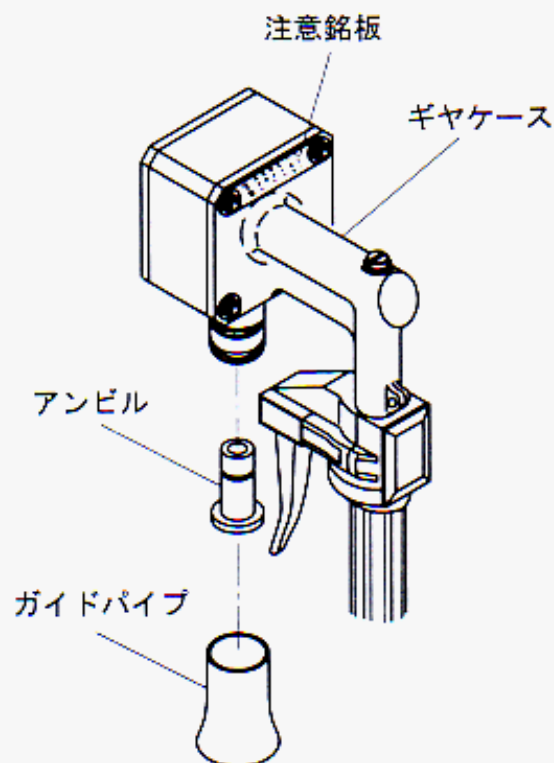
● 割れや破損した状態で使用しますと本機の故障の原因になります。

● 交換部品はお買い上げ店または、営業所で購入してください。

■ ガイドパイプ

● 割れや破損はないか確認してください。割れや破損があれば必ず交換してください。

重要

● 交換部品はお買い上げ店または、営業所で購入してください。

■ グリスの補充・交換

【クランクケース・ギヤケース】

- 打撃力が弱まり杭の入りが悪くなったら補充してください。稼動時間約２０時間を目安にしてください。

- クランクケース内の補充はガイドパイプ、アンビルを引き抜き、アンビル挿入口からクランクケース内に約３ｇ補充してください。

- ギヤケース内の補充はグリスプラグをはずし、補充用グリスチューブをねじ込んで約２ｇ補充してください。

- 杭を打たなくなったら必ず交換してください。

重要

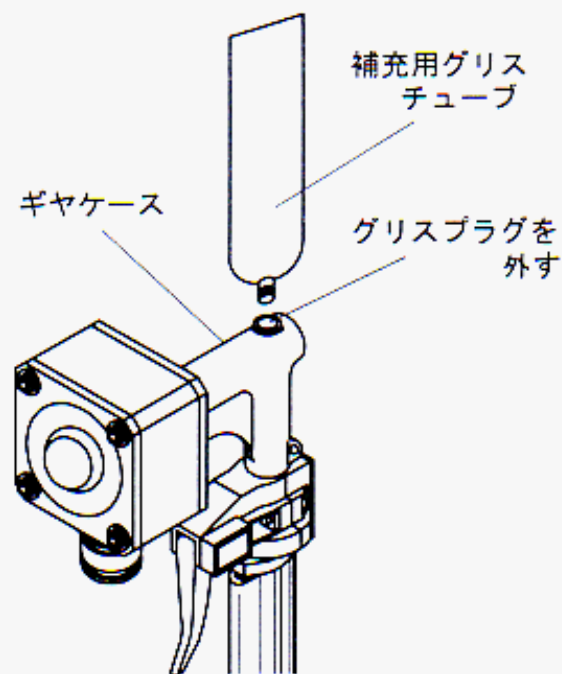
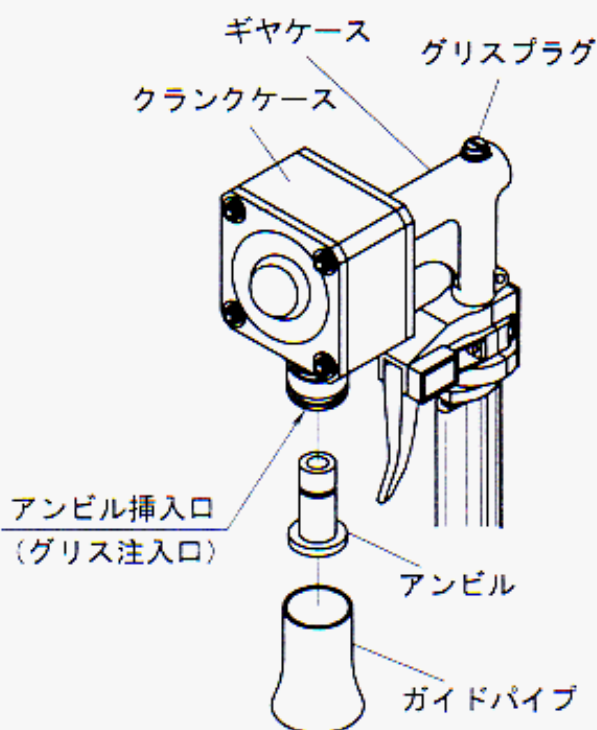
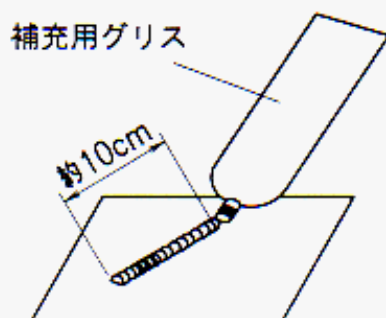
- 無理をして打ち続けるとグリスが消耗し杭を打たなくなり、グリスの交換時期が早まります。

- ガイドパイプ内、アンビルに付着した異物は、完全にふき取って下さい。故障の原因になります。

- グリスは付属品補充用を必ずお使いください。

- グリスの交換は必ずお買い上げの店または、営業所に依頼してください。

【グリス３ｇの目安量】

- 絞り出し長さが約１０ｃｍくらいです。あくまでも目安にしてください。

【クラッチハウジング】

● 稼動時間約２０時間を目安、もしくは振動を感じたときに補充してください。

① エンジンを始動させアイドルから少し上がった位で回してください。

② クラッチハウジング部のグリスニップルよりグリスを補充してください。

③ グリスだまりがいっぱいになったら、エンジンを回転させながらわずかずつ補充してください。

補足

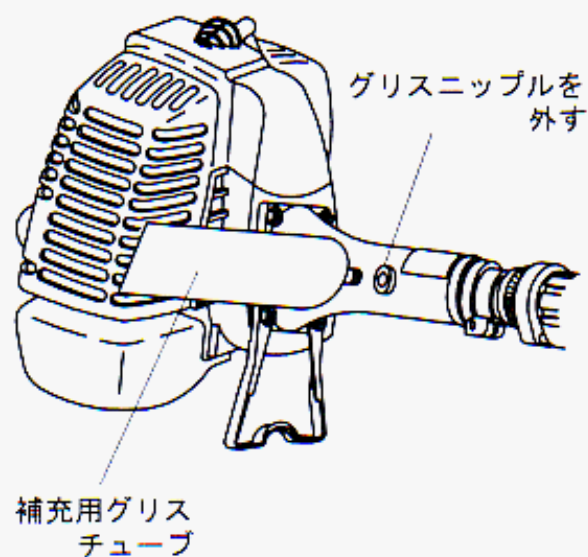
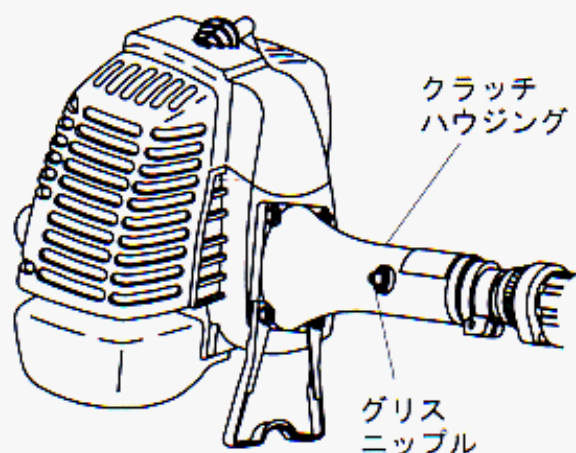
● グリスポンプの持ち合わせのない場合は、グリスニップルをはずし補充用グリスチューブをねじ込んで補充してください。

重要

● グリスだまりの容量は５０ｃｃですので無理にいれないでください。無理に入れるとグリスがクラッチのほうへ流れ故障の原因となります。

● グリス不足になると高熱が発生し、本機に悪影響をおよぼし破損することがあります。

■ 清掃

● エンジンのエアクリーナや冷却風の通り道に付着したほこりやゴミをていねいに取り除いてください。ゴミの付着はオーバーヒートの原因となります。

■ 点検項目

点 検 部 位	点 検 内 容	処　　置
クランクケース部	● 締め付けボルトのゆるみ	● 増し締め
	● 割れ・破損	● 交換（★）
	● 油漏れ	● 締め付けボルト増し締め
ギヤケース部	● 締め付けボルトのゆるみ	● 増し締め
	● 割れ・破損	● 交換（★）
	● 油漏れ	● 締め付けボルト増し締め
アンビル	● 割れ・破損	● 交換（☆）
ガイドパイプ	● 割れ・破損	● 交換（☆）
ストップスイイチ	● コードの抜け	● 接続
	● コードの断線	● 交換（★）
エンジン部	● 取り付けボルトのゆるみ	● 増し締め
エアクリーナ	● 目ずまり	● 清掃
冷却風の通路	● ほこりなどの付着	● 清掃
燃料タンク	● 傷による燃料漏れ	● 交換（★）
	● 取り付けボルトのゆるみ	● 増し締め
	● キャップからの燃料漏れ	● パッキン交換（☆）
	● 燃料パイプに傷	● 交換（★）
スロットルレバー	● 取り付けボルトのゆるみ	● 増し締め
	● 動き不良	● 交換（★）
スロットルワイヤー	● 動き不良	● 交換（★）
	● 遊び不良	● 調整（★）

● 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げの店または、営業所にご相談ください。

● ☆印の付いている処置につきましては、お買い上げの店または、営業所で純正部品をお求めください。

● ★印の付いている処置につきましては、お買い上げの店または、営業所に依頼して処置してください。

⚠ 危険	● 本機の改造や分解等はしないでください。運転時に本機が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。 ● 本機各部の締結部品（ボルト、ナット、ネジ類）は必ず純正部品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

■ 長期保管時の手入れ

▲危険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料を抜き取る時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。 ● 燃料の保管容器のキャップはしっかり締めてください。

重　要	● 長期使用しない場合は燃料を必ずエンジンから抜き取ってください。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると径時変化によりパッキンが変形することがあります。

【保管要領】

① 機体の汚れを落とし、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検してください。

② 燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

③ キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押して、配管通路内の燃料を燃料タンクに戻してください。

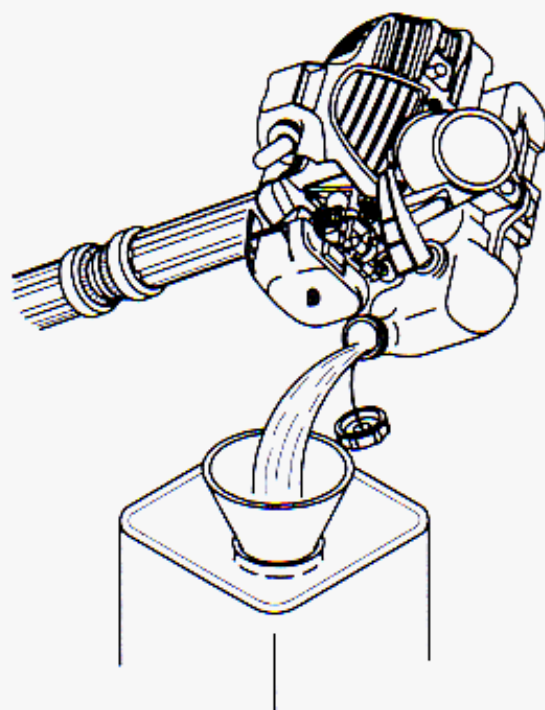
④ もう一度燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

⑤ エンジンを始動し、自然に止るまで運転してください。

⑥ 点火プラグを取り外し、２サイクルオイルを数滴エンジン内に注入してください。リコイルスタータを数回引いてから点火プラグを元通り取り付け、圧縮のあるところで止めてください。

⑦ 金属部に防製油を塗った後、チリやほこりの付かないようにして、湿気の少ない場所に保管してください。

重要

● 燃料タンクに燃料を長期入れておくと、オイル分がキャブレタやフィルター内で変質し、目づまりによる始動不良など故障の原因になります。燃料は必ずエンジンから抜き取ってください。

安全説明確認カード

下記の販売説明員から杭打機の安全な取り扱いと操作および保証書の内容について説明を聞きました。

フリガナ お客様のお名前	印
お客様のご住所 お電話番号	〒□□□-□□□□ TEL　　（　　）
ご購入商品 型式名 製造番号	ビーバーマジックハンマー 杭打機　ＲＰ－０１８ Ｎｏ．
納入日	平成　　年　　月　　日
説明日	平成　　年　　月　　日
販売店住所	〒□□□-□□□□ TEL　　（　　）
販売店名	印
納入説明者	

山田機械工業株式會社

ビーバー

保　証　書

ご購入者お名前	お買い上げ日 平成　　年　　月　　日
ご購入者ご住所 お電話番号 （　　　）	販売店名 印 電話番号 （　　　）
商品名・型式 ビーバーマジックハンマー 杭打機　ＲＰ－０１８	製造番号 Ｎｏ．

お買い上げいただきました商品は厳重な商品管理のもとに製造されていますが、万一、材質または製造上の欠陥により故障が発生した場合は、下記の規定に従って無料で修理させていただきます。

● 保証の期間

この保証の有効期間は未使用商品お買い上げの日から６ヶ月間です。ただし、専門業者またはレンタル業などを業としてご使用の方は、お買い上げの日から３ヶ月以内とさせていただきます。また、上記販売店記入欄が空白の場合は無効となりますので、お買い上げ時にご確認ください。

● 保証手続

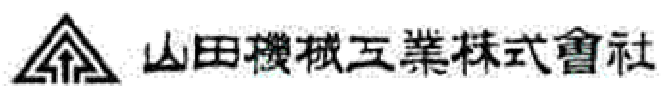
この保証による無料修理（以下、保証修理と言います）をお受けになる際は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

● 保証外事項

次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 取扱説明書記載の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
- 弊社の認めない改造およびそれらに起因する故障
- お買い上げ販売店または弊社特約店以外での修理およびそれらに起因する故障
- 商品分解状態でのお持込み
- 純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
- 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなど感覚的な現象
- 使用損耗および経年変化による外観の劣化（褐色、発錆、打痕、擦過キズなど）
- 自然災害または事故、過失、不注意による機体の損傷
- 消耗部品および油脂類（スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、コントロールワイヤおよびこれらに類する消耗品、燃料、エンジンオイル、グリスおよびこれらに類するもの）
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費など）
- 商品が日本国外で使用される場合（This warranty is valid only in Japan.）

山田機械工業株式會社

山田機械工業株式會社

本　　社　〒651-2404　神戸市西区岩岡町古郷1534　TEL 078(967)1481　FAX 078(967)3090

2008.2印刷